

樽本樹邨団長以下4名

中国書法家協会の招きで訪中

北京・瀋陽へ

秘書長 鬼頭翔雲

去る八月十日より五日間、中国書法家協会の招聘による全日本書道連盟訪中団（樽本樹邨団長以下四名）は北京・瀋陽を中心として交流・研修をした。

早朝出発の為、樽本団長、関根玉振団員、添乗の温湯紹幸氏、私達は空港に隣接するホテルに前泊。出発当日の朝、田中鳳柳副団長、金丸鬼山団員と空港ロビーで合流、早朝にも拘わらず来た下さった連盟事務局の飯田氏の見送りを受け、気持ちを引き締め機内へ。全日空1282便は時差一時間の北京空港に十二時三〇分到着。

中国書法家協会先生方との交流

北京空港では中国書法家協会対外連絡部の邵世元先生、中国旅行社総社日本部友好交流処々長・通訳の李勇氏の出迎えを受け、宿泊ホテル「中旅大廈」へ向かう。チェックインを済ませ、中国書法家協会

にご挨拶の為、今年二月に新築されたばかりという「中国文学藝術界聯合会」ビルに到着。一階ギャラリーで書法家協会先生方の作品を拝見した後、八階会議室へ。会議室前にて趙長青中国書法家協会副主席はじめ中書協幹部先生方が出迎えを受け部屋中央の円卓の席へ。

中国書法家協会からは趙副主席の他に白煦中書協副秘書長、郭志鴻中書協弁公室秘書、邵世元中書協対外連絡部、李勇中国旅行社総社日本部友好交流処々長・通訳の五名が出席して頂けた。

趙副主席より私達訪中団を熱烈歓迎するとの言葉を賜り、有意義な交流と訪中の成果を期待する旨、又、大いに楽しんで下さいとの心温まるご挨拶を頂きました。

交流会では趙副主席より本連盟との経緯、中書協の歴史なこと、そして今後、本連盟との更なる交流の強化などかなり建設的な要望が話された。

当連盟訪中代表団

(2010年度)

- 団長 樽本 樹邨 (当連盟副理事長)
- 副団長 田中 鳳柳 (当連盟常務理事)
- 秘書長 鬼頭 翔雲 (当連盟評議員)
- 団員 関根 玉振 (当連盟正会員)
- 団員 金丸 鬼山 (当連盟正会員)
- 通訳 温湯 紹幸 (株式会社サンラ イズ代表取締役)

骨子を纏めると以下の通りである。

①「全日本書道連盟代表団」のご来訪を熱烈に歓迎する。

② 次代を担う青少年の書道交流を目的に「成田山」・「高野山」が派遣する書道交流団を受け入れた。八月二十一日には中国の青少年書道家を「成田山」に派遣する。

③「全日本書道連盟」は日本を代表する最高峰の書道団体であり、今後はより具体的な交流を深めて行きたいと思っております。

④「国際書道家聯合總會」と言う組織がある。当初はシンガポールに本部(幹事処)があったが、現在は依頼を受けて中国書法家協会に本部(幹事処)を置いておられます。歴史的な経緯があり、日本からは毎日書道会が団体会員になっている。本年十月に奈良において「第九回国際書法交流奈良大展」が毎日新聞・毎日書道会の協力を得て開催される。

中国書法家協会としては日本最高の書道団体である全日本書道連盟に団体会員として是非とも加わって欲しいと願っている。

一時間余の交流会を済ませ、同じビル二階の餐厅にて中書協主催の歓迎宴。中国書法家協会主席、張海先生、中書協、張建才主席秘書も出席して下さり双方合わせて十三名での懇親会となった。そこは料亭とは違いい言わばVIP室、来賓接遇の特別室か、落ち着いた雰囲気、素晴らしい書画作品が展覧された高級な調度品が置かれ、豪華な円卓・椅子が置かれている。お話によるとどうもこのVIP室で歓待するのは私達訪中団が最初とのこと。張海主席のご挨拶に続き、樽本団長から御礼の挨拶。最高級の中国料理が次々と運ばれてテーブルの上は美しい花が一面に咲いたよう。和氣満々の雰囲気、北京の燕京ビールで乾杯、また乾杯。改めて今後の交流のあり方についての話が弾む。二時間にわたる心温まる歓迎の宴、書の話あり、又、目の前の豪華な中国料理の話ありと、有意義で楽しい時間を過ごさせて頂くことが出来ました。

遼寧省書法家協会先生方との交流

十一日、団一行は中国南方航空6102便にて瀋陽空港に到着。途中で昼食をとり、宿泊ホテル「瀋陽商貿飯店」には午後二時十五分に着く。午後四時半ホテルロビーに集合、午後六時からの遼寧省書法家協会主

催の歓迎宴に臨んだ。場所は鳳凰飯店。遼寧省書法家協会の出席者は次の通り。

中国書法家協会副主席・遼寧省書法家協会主席袁成文先生、遼書協副主席兼秘書長・胡崇煒先生、遼書協理事・趙博海先生、中書協副秘書長・白煦先生、中書協対外連絡部・邵世元先生、そして通訳の李秀氏と遼軍英さんの七名。袁成文先生の熱烈歓迎のご挨拶に続き、樽本団長の謝辞、出席者の紹介をすませ、乾杯。昨晚の北京の接待、今宵の瀋陽での接待、ついついビールも飲みも早く、樽本団長のカンペー、一気飲みには少々心配したが、この地ビールもまた格別、満面笑顔のやりとり。明日の遼寧省博物館での国宝級・超名品も間違いなく鑑賞させて頂けるとのこと、その喜びが一層料理と飲み物を美味しくさせて頂ける。今日は若い書法家も見え緊張感もほぐれテーブルを回りカンペーを繰り返す。二時間の宴も時を忘れるほどの楽しさであった。感謝、感謝。

遼寧省博物館「萬歲通天進帖」を鑑賞する
中書協、趙長青副主席のご友人が遼寧省文化庁の要人ということで格別なご尽力を賜りこの超国宝級書跡「萬歲通天進帖」を鑑賞することが出来た。

八月十二日、午前九時二十五分遼寧省博物館に到着。馬寶傑館長と胡崇煒遼寧省書法家協会副主席が玄関で出迎えて下さり一階の貴賓室へ案内される。馬館長と樽本団長の挨拶の後、いよいよ地下一階の特別室

へ。その部屋はかなり広い。部屋中央には大きく長めの常設と思われる展示台が置かれ、その部屋の周囲には白い高級なソファが置かれている。私達がマスク・白手袋を着用している間に四五人の学芸員と思いき女性が誠に丁寧に巻き物を広げていた。唐人の双鉤填墨した王羲之の姨母帖、初月帖等、王羲之の二門の書跡を一巻としたものが目の前に広げられた。マスクをしていると眼鏡が曇ってしまう。マスクを調節しながら真剣に必死にその名品を見る。本当にこれが揚子による複製されたものなのか？という不思議な疑問を感じた。それは筆の動き、躍動美、言葉では言い表せない生動感に身震いを感じるほどであった。息を滑め、超名品の何とも言葉ぬきぬきに、気韻そのものをしっかり焼き付けておかなければと思いつき一行、一行を克明に拝見させて頂いた。どれくらい時間であったのか夢中で覚えていない。深い味わいとその書跡の素晴らしさに、団長、団員も言葉が発しない。王羲之の書聖たる所以と唐人の精緻で高度な技術に改めて感服させられた。只ただ、歴史の超名品を見させて頂いた感激と感謝、この上ない満足感を強く覚えた。

お陰さまで四泊五日の訪中は充分な交流と研修をおさめ得たと思っております。中国書法家協会の先生方から色々なお話を聞かせて頂いたこと、遼寧省博物館での「萬歲通天進帖」の名品を拝見できたこと、又、北京では故宮博物院・武英殿書画館にて晋

唐宋元明清書画展」の名品を鑑賞できたと、更には李秀氏のお骨折りにより「古陶文明博物館」で数多い瓦當・封泥・青銅器等を鑑賞できたこと、琉璃廠では文房四宝をはじめ書籍類をじっくり見る事ができたと、研修のみならず、昼夜豪華で美味な各種中国料理を楽しめたこと、北京の「燕京ビール」、瀋陽の「雪花ビール」も美味しく猛暑の中での行程の疲れを忘れさせてくれる元気の源でありました。

田中副団長先生、金丸先生にはバスの中、食事の折には楽しい雰囲気を作って下さって常に笑いの中での行程であったように思います。

十四日、全日空1286便にて午後八時四十五分、旅の疲れも感ずることなく羽田空港に無事帰って参りました。入国ロビーでは事務局の飯田氏が遅い時間にも拘わらず出迎えて下さり、行きも帰りも有難く深く感謝申し上げます。

最後に中国書法家協会の諸先生、遼寧省書法家協会の諸先生、遼寧省博物館館長先生、その他にも多くの方々にお世話になりました。殊に北京と瀋陽の会合、遼寧省博物館訪問等ご指導を賜りました中書協、白煦先生、そして北京空港から北京空港までの全行程をご親切にお世話して下さいました中書協、邵世元先生、出発から帰国まで添乗して下さいましたサンライズ・トラベルの温湯社長様には格別お世話になりました。心より厚く御礼申し上げます。

●天皇・将軍から茶人・絵師まで、江戸に生きた人々を書で紹介！

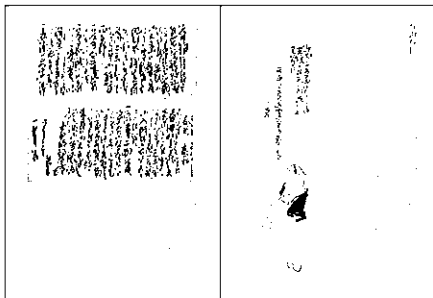
江戸の書

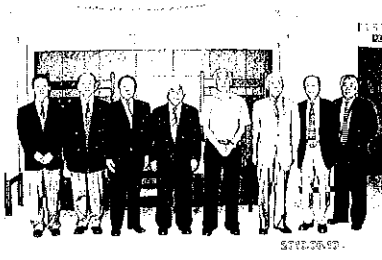
高橋利郎 著

B5判変型・232頁●3675円

江戸三百年の平和を生きた、公家・武家・町人、或いは禅僧・儒者・茶人・絵師など様々な身分の人々の事跡を多彩で雅趣に富んだ書とともに紹介。また、充実したコラムによって文化的な背景も幅広く考察。

【収録者】本阿弥光悦・後陽成天皇・小堀遠州・徳川家康・伊達政宗・徳川家光・松尾芭蕉・池大雅・上田秋成・田能村竹田・渡辺華山・本居宣長・白隠・良寛 他全125名





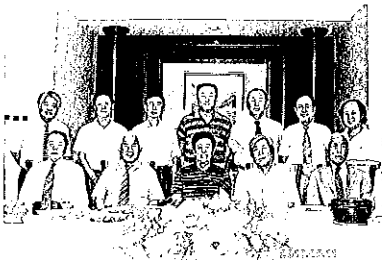
中国書法家協会との交流会・
樽本団長と張海主席 (中央)



中国書法家協会との交流会・
中央が趙長青副主席



中国書法家協会との交流会(北京)



遼寧省書法家協会主催「歓迎宴」
前列中央が聂成文主席



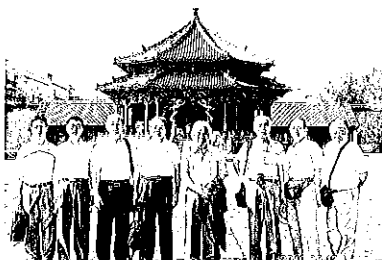
張海主席を中心に乾杯/
樽本団長と田中副団長 (右側)



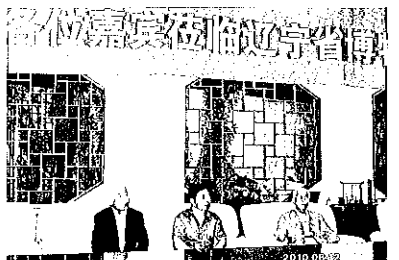
歓迎宴で張海主席より
「張海書法展作品集」を贈られる



「古陶文明博物館」にて瓦當等を
鑑賞する



皇宮「瀋陽故宮」にて団一行



遼寧省博物館貴賓室にて
馬寶傑館長(中央)と会談

●本質を識れば、「書」がますます楽しくなる!

「書」を考える [書の本質とは]

松村茂樹 著

B6判変型・256頁●1575円

中国の書文化と歴代の名品を軸に、書とは何かを考え、その本質を分かりやすく説いたエッセイ集。中国の書における文化や環境、文人たちの眼と作品、それを受容した我が国の先人の熱意などを紹介。また「蘭亭叙」「書譜」など、名品の内容を詳しく解説し考察する。



二宮社

〒113-0021 東京都文京区本駒込6-2-1 Tel.03-5395-0511 Fax.03-5395-0515 <http://nigensha.co.jp> (価格税込)

全日本書道連盟代表団

《行動スケジュール表》

第1日目 8月10日(火)		第4日目 8月13日(金)	
07:30	「羽田空港国際線ターミナル」に集合 集合後、搭乗手続き及び出国手続きを済ます	14:50	清朝の雰囲気を漂わす皇宮「瀋陽故宮」に到着 着後、参観
10:15	全日空1285便にて北京へ ※台風4号の影響で定刻より45分遅れで出発	15:55	専用車にて次の観光へ
12:30	「北京空港」に到着 着後、中国入国書手続きを済ます ※中国書法家協会の邵世元先生の出迎えを受ける	16:05	軍閥・張作霖の官邸・私邸であった「張氏帥府」に到着 着後、参観
13:30	専用車にて市内宿泊ホテルへ	16:50	専用車にて夕食のレストランへ
13:50	宿泊ホテル「中旅大厦」に到着 着後、部屋割りをして小休止	17:00	「老辺餃子」に到着 着後、名物料理の夕食を済ます 市内レストランで「海鮮料理」の夕食を済ます
15:45	専用車にて中国文学芸術界聯合会へ	18:50	専用車にてホテルへ
16:10	「中国文学芸術界聯合会」に到着 着後、時間調整を兼ねて1階の陳列作品を鑑賞	19:10	宿泊ホテルに到着
16:30	8階の会議室にて趙長青副主席との会見	第4日目 8月13日(金)	
17:30	2階の餐厅にて中国書法家協会主催歓迎宴	06:30	モーニングコール
19:30	専用車にてホテルへ	07:00	託送荷物を部屋の前に出す
20:00	宿泊ホテルに到着	07:00	ホテル内4階レストランにて朝食
第2日目 8月11日(水)		08:00	専用車にて瀋陽空港へ
07:00	モーニングコール	08:40	「瀋陽空港」に到着 着後、搭乗手続きを済ます
07:45	部屋の前に託送荷物を出す	10:00	中国南方航空6103便にて北京へ
07:45	ホテル内1階レストランにて朝食	11:40	「北京空港」に到着
08:40	専用車にて北京空港へ	12:15	専用車にて昼食のレストランへ
09:10	「北京空港」に到着 着後、搭乗手続きを済ます ※白煦先生・邵世元先生も同行	12:45	「花家怡園」に到着 着後、昼食を済ます
10:45	中国南方航空6102便にて瀋陽へ	14:10	専用車にて宿泊ホテルへ
11:50	「瀋陽空港」に到着	14:15	宿泊ホテル「中旅大厦」に到着 着後、部屋割りをして小休止
12:10	専用車にて瀋陽市内へ	15:00	専用車にて故宮へ
12:50	「膳之坊」に到着 着後、昼食を済ます	15:45	「故宮」西華門に到着 着後、武英殿書画館にて「晋唐宋元明清書画展」を鑑賞
13:55	専用車にて宿泊ホテルへ	16:30	専用車にて次の観光地へ
14:15	宿泊ホテル「瀋陽商貿飯店」に到着 着後、部屋割りをして小休止	17:40	「古陶文明博物館」に到着 着後、参観
16:55	専用車にて歓迎宴会場へ	18:30	専用車にて夕食のレストランへ
17:50	「鳳凰飯店」に到着 着後、遼寧省書法家協会主催歓迎宴に出席	19:20	「崑崙飯店」に到着 着後、ホテル内日本料理店にて中国側随行員の慰労を兼ねた夕食を済ます
20:00	専用車にて宿泊ホテルへ	20:00	専用車にてホテルへ
20:15	宿泊ホテルに到着	20:15	宿泊ホテルに到着
第3日目 8月12日(木)		第5日目 8月14日(土)	
07:30	モーニングコール	07:30	モーニングコール
08:00	ホテル内4階レストランにて朝食を済ます	08:00	託送荷物を部屋の前に出す
09:05	専用車にて博物館へ	08:00	ホテル内1階レストランにて朝食を済ます
09:25	「遼寧省博物館」に到着 ※馬寶傑館長・胡崇煒遼寧省書法家協会副主席が出迎え ※貴賓室にて館長より歓迎の挨拶、その後地下1階で「万歳通天帖」を特別鑑賞	08:55	専用車にて琉璃廠へ
11:15	専用車にて昼食のレストランへ	09:30	「琉璃廠文化街」に到着 着後、自由散策
11:35	「小背楼」に到着 着後、昼食を済ます	10:50	専用車にて一旦ホテルに立ち寄り昼食のレストランへ
13:15	専用車にて茶館へ	11:50	「西貝餐飲」に到着 着後、昼食を済ます
14:00	「春夏秋冬茶楼」に到着 着後、茶飲と小休止	13:10	専用車にて北京空港へ
14:25	専用車にて故宮へ	13:50	「北京空港」に到着 着後、搭乗手続きと中国出国手続きを済ます
		16:30	全日空1286便にて帰国の途へ ※定刻より45分遅れで出発
		20:45	「羽田空港」に到着 着後、日本入国手続きを済ます ※事務局の飯田様の出迎えを受けて、その後解散